

# 島根大学 研究・学術情報本部 総合博物館 年報

Annual Report of Shimane University Museum

令和5・6・7年度



2026.6

島根大学 研究・学術情報本部 総合博物館

Shimane University Museum

(表紙) 旧制松江高等学校の天体望遠鏡

株式会社 五藤光学研究所 製

1939 (昭和 14) 年 製作

6 インチ (15cm) 屈折式・据付型赤道儀重錘式運転時計付。  
五藤光学研究所製の同型としては 4 号機になる。1939 (昭和 14) 年、島根大学前身校の旧制松江高等学校が購入し、戦後、島根大学に引き継がれた。1962 (昭和 37) 年頃に現総合理工学部 2 号館屋上の天文台に再設置され、本学の天文教育や学生サークル現天文部による天文観測を担ってきた。

2014 年頃から役割を終えて使用されていなかったため、2026 年 3 月 17 日、生物資源科学部 3 号館内の総合博物館アシカル展示室に移設された。

## 序 文

平成30年6月に開館した島根大学総合博物館は、令和8年6月で8周年を迎えました。この間、令和2年から始まった新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行は、臨時休館や様々な催しの延期など、当館においても厳しい対応を余儀なくされました。こうした長い臥薪嘗胆の時期を経て、令和5年5月から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、「2類相当」から「5類」に移行され、本学においてもようやく通常の教育研究をはじめとした諸活動が実施できる環境となりました。

令和5年度は、企画展、様々な普及啓発活動、学芸員養成課程授業および全学基礎教育科目授業の開講と併行して、校舎新築に伴う松江キャンパス2か所における埋蔵文化財発掘調査を実施しました。令和6・7年度も複数の企画展や普及啓発活動を開催し、本館・分館とも入館者数をほぼコロナ禍前の水準ないしそれ以上まで回復・増加させることができました。専任教員1名・特定職員1名という限られた体制のなかでは、活動する量・内容に物理的、体力的な限界がありますが、学内外の教員・関係者の皆様の協力も得ながら諸活動を推進できたと思います。

今後とも学内外の関係諸機関との一層の連携をはかった活動を推進し、「人とともに、地域とともに」をキャッチフレーズにした島根大学の具体的実現を目指していく所存です。最後になりましたが、当館の様々な取組においては、日頃より各方面から多大な御協力、御支援を賜りました。ここに厚くお礼申し上げます。

令和8年6月

島根大学研究・学術情報本部 総合博物館 館長 會下和宏

# 目次

I	規則・組織	1
1	規則・要項・申合せ	1
(1)	島根大学研究・学術情報本部規則	1
(2)	島根大学研究・学術情報本部総合博物館規程	2
(3)	研究・学術情報本部総合博物館の兼任研究員及び学外協力研究員に関する要項	4
(4)	研究・学術情報本部総合博物館普及啓発専門委員会要項	5
(5)	研究・学術情報本部総合博物館埋蔵文化財専門委員会要項	6
(6)	研究・学術情報本部総合博物館旧奥谷宿舍活用専門委員会要項	6
(7)	旧奥谷宿舍使用要項	7
(8)	研究・学術情報本部総合博物館非常勤講師等の選考に関する申合せ	8
(9)	研究・学術情報本部総合博物館学外協力研究員に関する内規	8
(10)	総合博物館に設置する防犯カメラの管理及び運用に関する申合せ	9
(11)	島根大学構内における埋蔵文化財の取扱いに係る判断基準	10
2	組織	13
(1)	組織構成と構成員	13
(2)	運営会議	13
(3)	専門委員会	14
II	活動報告	15
1	主な活動日誌抄	15
2	標本資料類などの収集、整理・保管、調査研究	20
(1)	標本資料類などの収集	20
(2)	標本資料類などの整理・保管	23
(3)	標本資料類などの調査研究	24
3	博物館学および標本資料類などに係る学生教育	25
(1)	学芸員養成課程科目	25
(2)	全学基礎教育科目「地域博物館へのいざない」	26
(3)	全学基礎教育科目「たたらと現代製鋼」	26
4	標本資料類などに係る普及啓発及び地域貢献	28
(1)	展示施設	28
(2)	入館者数	28
(3)	常設展示	30
(4)	企画展示など	30
(5)	ニュース展示・ミニ展示	33
(6)	団体見学・キャンパスツアー・オープンキャンパス企画・学園祭企画など	34
(7)	アシカル講座・フィールド体験ツアー・子どもミュージアム体験教室など	35

(7) 刊行物	41
(8) インターネットを活用した情報発信	42
5 本学構内の埋蔵文化財の取扱い	43
(1) 材料エネルギー学部新営工事に伴う発掘調査	43
(2) 産学協創インキュベーションセンター新営工事に伴う発掘調査	45
(3) 島根大学構内遺跡第 15～24 次発掘調査の整理・研究	47
6 島根大学旧奥谷宿舎（総合博物館分館）の活用	49
7 マスコミ報道状況	51
8 総合博物館専任教員の活動記録	52

## 図 目 次

図 1 組織図	13
図 2 第 23・24 次調査区位置図（その 1、1/4,000）	44
図 3 第 23・24 次調査区位置図（その 2、1/2,000）	45
図 4 第 23 次調査区東壁断面図（1/80）	46
図 5 第 24 次調査区西壁断面図（1/80）	48

## 表 目 次

表 1 受入資料一覧	20
表 2 学芸員資格取得に必要な科目（令和元年度以降入学生・編入生・科目等履修生）	25
表 3 学芸員関係科目の受講者数	26
表 4 入館者数一覧	29

---

島根大学研究・学術情報本部総合博物館年報

令和5・6・7年度

発行 2026年6月1日

発行者 島根大学研究・学術情報本部総合博物館

〒690-8504 松江市西川津町1060

電話 (0852) 32-6496

印刷 株式会社谷口印刷

---